

(様式2)

放射線等に関する教育実践事例

学校番号・学校名	〈小・39〉 いわき市立小名浜第一小学校
〈実施日〉	平成 28年 7月 5日 (火)
〈実践教科等〉	※当てはまる番号に○を付けてください。4は()に教科等を入れてください。 1 理科 ○2 学級活動 3 総合的な学習の時間 4 その他 ()
〈実践内容〉	<p>1 6学年の実践である。昨年度見学学習で、子どもたちは、小名浜港で水揚げされているカツオやサンマの放射線量が、基準値を下回っていて安全だが、風評被害により、食べてくれないことを学んでいる。また、除染プラザの方を講師に招いて、校庭の放射線量を計測し、マッピングをして表すことで、どこも安全であることを体験している。しかし、今年度実施した、放射線に関するアンケート調査結果を見ると、「基準値は下回っているだろうけど、いわき市で採れた野菜や小名浜港で水揚げされた魚を食べるのは心配」と答えた子は、数名いる。特に、野菜や山菜などについては知識がないため心配に思っている子が若干多かった。</p> <p>そこで、今年度は子どもたちの生活に身近な「食」について取り上げ、今まで学んだ知識をもとに自由に意見を言い合う、ディスカッション形式の授業を実施した。授業の終末には、外部講師の方から、何が正しいかを教えるのではなく、今後子どもたちが生活していくうえで、正しい「判断」ができる材料として専門的な視点で正しい知識を伝えてもらう形にした。</p>
	<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"><p>○ ディスカッションは、おみやげで福島県産の桃を関西に住んでいる近所の方に上げる。しかし、</p><ul style="list-style-type: none">・孫には食べさせなかった。・放射性物質がゼロということではないし、正直まだ不安。・あなたは、いつも福島産の物を食べたり飲んだりしているけど大丈夫？と聞かれる。<p>☆ あなたは、何と答えますか？という話題で行いました。</p></div>
〈成果〉	<ul style="list-style-type: none">・ 終末に、外部講師の方から「食」についての最新の情報が聞けて良かった。いわき産のコメは、一袋一袋検査されていることを知り、売られている食べ物に関しては、安心して食べていいと感想に書く子が多く見られた。・ 情報と知識から、正しい判断ができる力をつけさせる授業になった。・ 事前にアンケートを取ったことで、子どもの実態を把握し、授業者と外部講師の先生と共有し、授業を計画することができた。
〈課題〉	<ul style="list-style-type: none">・ 除染プラザの方と数回打ち合わせをし、その内容を外部講師の方に伝えてもらうようにしたが、伝わっていないところもあった。かなり難しいことだと思うが、外部講師と直接打ち合わせできる時間があるとよかった。
資料作成担当者職 (教諭) 氏名 (柘植 直樹)	学校電話番号 (54-2626)

【資料作成上の注意】

1. 平成27年8月～平成28年7月の実践についてまとめてください。
2. 提出期限の平成28年8月1日(月)までに電子メールで送信してください。
(送信先: kakuta-k@city.iwaki.fukushima.jp)